

第3回 障がい者支援施設いずみ 地域連携推進会議

日 時

令和8年2月20日 金曜日 13:30～15:00

場 所

障がい者支援施設いずみ 2階 会議室

参加者

堀施設長 新川係長 A様(地域関係者) T様(利用者保護者) Y様(男性利用者代表)
丸山支援員 山口生活支援員(記録)

議題① BCP 訓練 に関して

令和7年10月に実施した内部研修会「令和7年度 BCP 訓練 地震についての確認」の資料に基づき、堀施設長が説明を行った。

いずみ学園としては、過去に台風で一部ライフラインが使用できない事があった。

設備としては、食料の備蓄(3日分)、各種発電機、コンロ等がある。3年前には、200Vの発電機を購入している。それにより水道が止まることはなくなった。

議題② 「いずみ」に関して (報告)

本年掲げていた重要取り組み課題である、「意思決定」と「地域移行」に関して新川係長より説明が行われた。

◎ 「意思決定について」

意思形成をする上で大切な「経験」、「体験」を目的とした取り組みとして外出や行事を実施してきた。

- ・お盆行事 ～ 帰省できなかった利用者様へ向けて実施。
- ・千歳神社祭り ～ 全員参加する事を前提に引率。都合により参加できなかった利用者様に関しては、代替えとして栗山の祭りに参加して頂いた。
- ・音楽祭 ～ 職員で結成されたバンドのコンサートとキッチンカーを出店。
- ・秋の外出(男性) ～ ぷらっと市場コース、ウポポイコースに分かれて実施。ぷらっと市場コースは、利用者様が食べたい希望のお店に入店して食べる事ができた。

・秋の外出（女性） ～ 1泊旅行は主に帰省出来なかった利用者様向け、日帰り旅行はしゃぶしゃぶ食べ放題・円山動物園のコースを実施。

・クリスマス行事 ～ ケーキ、カラオケなどの他に「1年の思い出ムービー」視聴。

・その他、個人的にプロレス観戦や水族館、えにわっこ（食育アイドル）のライブなどの同行支援を行った。

行事以外でも個人の要望や記念日に合わせた外出、グループでの体験を兼ねた外出の機会を多く設けることが出来た。

◎ 地域移行に関する意向調査

保護者様に向けて令和8年1月にアンケートを送付し調査を実施している。

利用者様より、地域移行のお気持ちが聞かれた場合、地域移行に向けて支援をしていく方向である。地域移行を希望する方への支援としては、「課題整理」⇒「地域体験」⇒「地域移行準備」⇒「定着評価」の順に進めていく。

利用者様が施設での生活を希望されているのであれば、その思いを叶えてあげたい気持ちがある。ただし、住んでいる施設の他に地域にどのようなサービスが存在しているのか、どの位便利であるのか等の情報を利用者様にお伝えできればということが報告された。

質疑応答①

T様：「地域にグループホームがある事は知っているが、グループホームに住んでいる方々は何をしているのか実態がわからない。」

→保護者総会等で情報をお伝えできる機会を作りたいと考えている。希望者にはもちろん、まずは地域生活の正しい情報や社会資源の情報提供、実態等は施設としても知って頂けるよう情報提供を行っていく。

質疑応答②

A様：「キッチンカーとコンサートの場所は一緒であったのか」

→キッチンカーに関しては、いずみ学園正面の駐車場に停車して頂いた。コンサートは学園の体育館にて実施。飲食はコンサート会場で行い、少しでも音楽を聴きながら過ごせる行事にした。

質疑応答③

A様：「停電をした際、暖房について冬期間はどのような対応となるか」

→発電機は水を汲み上げる動力源となる。暖房はポータブルを準備している。ただし利用者様の特性を考慮すると男性棟もしくは女性棟内に設置すると安全上難しいと思われる。その為、毛布や上着を活用する事が有効な対策になると考えられる。

質疑応答④

新川係長「Y氏はたくさん外出行けて楽しかったですか？」

→Y氏は照れた様子で「うん」と首を縦に振っていた。

議題③ 事故報告・支援に関する疑問等

・利用者様が受傷したケースに対する策に関して

利用者様がふらつき・転倒に伴い頭部等を裂傷したケースが報告されている。

居室等の出入口が鉄製のフレームとなっており、壁面より出て段差になっている。今回その箇所へ頭部をぶつけて裂傷となった。

今後、利用者様が同様のケースになったとしても大きな怪我に繋がらないように対策を考えており、廊下等利用者様の導線になる箇所のフレームをクッション材で保護していく。クッション材はホームセンターで購入も考えたが、介護機材の業者より多量に仕入れて施工する。事故の概要は振興局への報告も行っている。

・男性棟の入浴時間について

権利擁護委員会のアンケートに男性棟で入浴する時間が早いのではという意見を頂いた。職員でも夜に入浴する人や、出勤前の朝に入浴する人等様々である。

利用者様も同様であり、午前中に入浴を済ませたい方がいると思われる。ただし中には午後からゆっくり入りたいという方もいると思われる。

そのため利用者様には入浴する時間帯に関して意向を確認しながら、入浴時間を決めていきたいと考えている。

次回、男性棟の中を見学する（3月）。Y氏が棟内の案内を行ってくれる。

以 上